



はやま 議会 だより



「オレンジセイルと葉山富士」 撮影・タイトル提供 中根はるみ氏(堀内在住)

- 新年のあいさつ … 2
- 定例会議報告 … 4
- 委員会レポート … 6
- 一般質問は10人が登壇 …10

葉山町議会



新年おめでとう ございます

葉山町議会を代表して

謹んでごあいさつを
申し上げます



手話でのあいさつ

新春を迎え、町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は葉山町議会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も町民の皆さまに寄り添いながら、より良い町政の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

通年議会

令和7年より、葉山町議会では「通年議会」を試行しました。そして議会機能の強化や議会運営の充実・活性化を図り、議会が主体的かつ機動的に活動できるよう、令和8年以降も定例会の会期を通年とすることから、新たに定例会の回数を定める条例を制定しました。町民の皆さまの声に迅速にこたえていくことを目指し、100年先の葉山の姿を見据え、持続可能な地域社会の構築、福祉や教育の充実、防災力の強化、脱炭素社会への移行など、未来に向けた取り組みは多岐にわたります。町民の皆さまの暮らしを守り、次の世代により良い環境を引き継ぐため、町議会として政策の検証と

提案を重ねてまいります。

デフリンピック

デフリンピックでは、葉山町ゆかりの選手でエアライフルに初出場した選手、そしてバレーボールで見事に金メダルを獲得した選手が素晴らしい活躍をいたしました。挑戦し続ける姿勢と、たゆまぬ努力によって掴み取られた成果は、多くの町民に勇気と感動を届けてくれました。

多様性を尊重し、誰もが活躍できる社会を実現していくうえで、この成果が持つ意味は大きく、心より敬意を表するとともに、今後の更なるご活躍を期待しております。また、この機運により町独自の手話言語条例制定を望みます。

議員研修会

毎年、町民の皆さまにも公開して行われています。令和7年度は「深海調査からわかること」と題し「しんかい6500」のパイロットにお越しいただき、いまだ未知の領域が多い深海にスポットをあて、地球環境について認識を深める

学びの機会をいただきました。未知の世界に挑む技術と探究心は、地域の未来を切り開く姿勢とも通じるものがあり、議会活動においても大きな示唆を得ることができました。「よこすか」の後継船となる新たな母船については「しんかい6500」等の各種探査機を効率的かつ効果的に運用するために必要となるものであり、国の令和8年度概算要求において設計費を計上しているとのこと。我が国の深海探査の充実に繋がればと思います。

令和8年度もワクワクする学びを得られるような議員研修会を開催したいと思います。

結びに、町民の皆さまにとりまして本年が健康で実り多い一年となりますことを心より祈念いたしまして、新春のご挨拶といたします。

議長 土佐 洋子



新たな年に向けて

土佐議長と一緒に他自治体や研修に何となく、必ずといふくらいに「正副議長が女性なの!!」と、声をかけられます。葉山では女性の正副議長は4度目。全国に女性のパワーを知ってもらいたいです。



副議長 窪田 美樹

災害対策を中心に学びを深め、安心して暮らせる町づくりに生かします。



星 加代子

前例より根拠を、答えを疑い問いを深め、覚悟ある決断で町の未来に向き合い続けます。



三浦 大輝

3期目の集大成。子どもまんなかを軸に町の未来を守り育み、責任感と行動力で挑みます。



石岡 実成

人口減少による町民生活や町行政への影響について、みんなと考え議論する年にしたい。



中村 和雄

適正な予算執行を見極める力、町民ニーズを反映する鋭い質問力を磨きます。



笹本 貢史

葉山町鳥獣被害防止計画の改正の年、国や県の支援を受け、鳥獣対策に尽力したい。



荒井 直彦

できるだけ多くの方たちとお話し、町民との協働を目指します。



金崎 ひさ

町民との協働を理想とし、興味を持ってもらえる広報を目指します。



山田 由美

今年も議員の責務を果たし、町民の声を力に住民本位のまちづくりを着実に進めます。



近藤 昇一

引き続き防災・減災対策や教育環境の整備に力を注ぎ、各種補助事業の拡充を図る。



待寺 真司

「100(いつ)の労を軽んずるは終身の憂いなり」先人の教えを大切に本年も努めます。



笠原 俊一

町政の課題は、山積！

次の100年に向けて持続可能なまちづくりに全力投球！



伊東 圭介

12月1日から12月16日までの日程で、補正予算、条例改正、陳情などを審査しました。

12月定例会議報告

補正予算

歳出

職員給与費 1億1174万円

人事院勧告による給与・職員手当等の変動に伴う更正増

慰謝料請求事件 11万円

慰謝料請求事件に係る弁護士報酬等
※P17 町長行政報告参照

ふるさと納税管理業務委託料 1000万円

町へのふるさと納税が増えたため

公共用地取得に向けた不動産鑑定評価委託料 30万円

学校再整備に伴う道路拡幅のため

問 買収しない場所は、大丈夫なのか。

答 防災倉庫設置場所は町の所有なので問題はない。駐車場の部分は、土地の交換を地主と交渉中である。



神奈川県町村情報システム共同事業負担金 42万円

子ども・子育て支援金制度対応に伴う職員用給与システム改修経費

認可保育所等補助金 240万円

保育補助者雇上強化事業、保育所等におけるICT化推進等事業の経費の一部補助

問 「誰でも通園制度」の周知方法は。個別の通知はどうか。

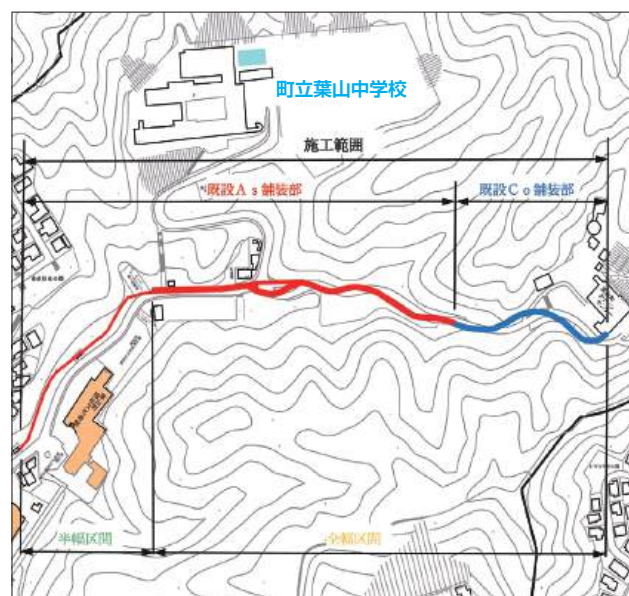
答 ホームページ、広報葉山等で行う。できる限り伝えられる形をとりたい。

問 施設の安全面のチェック等は、どこが行うのか。

答 町で実施する。

町道牛ケ谷・戸根山線舗装復旧工事 7997万円

クリーンセンター再整備工事の完了に伴い、仮復旧としていた舗装箇所の本復旧工事を行う



福祉文化会館ホールのリニューアルに向けた改修計画を策定 99万円

舞台照明・舞台音響設備改修基本計画策定、特定天井現況調査

葉山町職員定数条例の一部を改正する条例

消防本部の職員定数を55人から58人に改める

問 日勤警防係を新設することだが、夜間の体制はどうするのか。

答 当面は日勤帯だけ3隊で運用する。

問 基準の充足率は？

答 国の基準はかなり高く、類似団体、近隣市で充足している自治体は見当たらない。



消防隊の訓練の様子

葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

林野火災注意報等の発令等によって林野火災予防の実効性を高めるための改正

審査結果

委員会では「発令の周知方法や期間には疑問が残るが、林野火災は心配であり、条例改正により、町民の意識向上になる」との意見が出されました。

本会議で全会一致により可決しました。

葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

一般職の期末手当等の支給率の改正を勘案し、町長、副町長、教育長の支給率の改正を行うため

反対討論

特別職の報酬は、人事院勧告に法的に連動するものでなく、特別職は自らの特権に厳しく臨むべきで、報酬決定は町の財政状況と職責に基づいて決定されるべき。

葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（議員提案）

人事院勧告に伴う町の改正の動向を勘案し、議員の期末手当の支給率を改めるため

反対討論

議員報酬は、議会自らが決定する性質上、他の報酬よりも客観的な根拠が厳しく求められる。法的な正当性が担保されない慣例的な増額だ。

賛成討論

議員は名誉職でなく、日常不断の活動が求められている。過去2回の議員活動調査を基に、現行報酬とした。若い世代が議会に参画するためには、生活の補償が不可欠である。人事院勧告に合わせた改定に異論があるなら基準を示すべき。

葉山町議会の定例会に関する条例（委員会提案）

定例会の会期を通年とする通年議会制とするため、新たに定例会の回数を定める条例を制定



皆さまから寄せられた
請願・陳情の審査等

委員会

レポート



総務建設

委員長 荒井直彦

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

「最低賃金が引き上げられても賃金を支払う中小企業は厳しい経営となっている」との意見が出され、全会一致により採択し、国に対して意見書を提出することとしました。

歩道上への駐車防止および安全対策としてのポール・標識等の設置に関する陳情

「陳情の趣旨は理解できる」との意見でまとめ、全会一致により趣旨了承としました。

株式会社三嘉を事業者とする有限会社新世工業による下山口茅木山の大規模な造成工事に関して、きちんとした住民説明会開催を要請する陳情書

「陳情の扱いとしては願意が達成されているが、諸課題を抱えているので議会として今後も取り扱いすべき」との意見が出され、全会一致により採択しました。

町有地の不当占拠解消に係る陳情書

民間住宅地内に含まれる町有地の整理と、町の財産としての管理運営を求めるものです。
「町は把握しており適切に対応している」との答弁があり、全会一致により採択しました。

所管事務調査

- 地域防災計画の改定について
- 防災行政無線再整備について
- 第一次葉山町消防計画（案）について



茅木山の造成工事

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

委員長 金崎ひさ

逗子市との共同記者会見が急遽中止になった経緯等について町長・副町長の出席を求め、説明を受けました。

◆逗子市との協議

- 市長、町長が協議し「逗子市に対し物価スライドは求めない」「逗子市の損害は代理人同士で協議する」ことを確認しました。よって、共同記者会見を予定しましたが、詳細が決まっていなかったため、時期尚早との判断で中止としました。
- 委員からは「逗子市の損害について代理人を立てることに疑義を感じる」との発言がありました。それに対し「工事の遅延にかかわらず、計画通り、逗子市が令和7年3月から生ごみを葉山町に排出していれば生じなかった金額があり、それを精査するための代理人だ」との答弁がありました。

◆各取り組みの報告

- 「年末年始の休暇が長期にわたり、燃やすごみが2週間も出せない状況になる」という指摘が委員からあり「対応策を講じる」との答弁がありました。
- 生ごみ収集量は、令和7年3月～10月までの平均117トン/月でした。なお、燃やすごみは144トン/月でした。
- 紙おむつ等の回収ボックスを、令和7年11月から設置しました。

設置場所	紙 お む つ			ベッ ト 衛 生
	子ども	大人	計	
役 場	98.75	242.10	340.85	79.70
南郷上ノ山公園	55.90	22.05	77.95	61.05
資源回収共同組合	5.25	38.90	44.15	1.20
合 計	159.90	303.05	462.95	141.95

教育民生

委員長 待寺真司

介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書

「職員が集まらず、事業所が倒産し、介護離職が増える」「介護保険制度創設から25年が経過し、当時と状況は大きく異なり抜本的な改善が必要」との意見が出され、全会一致により採択し、国に意見書を提出すべきとしました。

安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

「実際にボーナスが下がり、やる気が失せるという声を聞いている」「処遇は全然改善されていない。特にパート労働者は最低賃金に近く、このままでは人材確保が難しい」との意見が出され、全会一致により採択し、国に意見書を提出すべきとしました。



夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書

「夜勤労働で健康をそこなった経験がある。夜勤交替制の労働環境に配慮した対応は必要」「全国的に保健所設置自治体が減っている現状を食い止める必要がある」との意見が出され、全会一致により採択し、国に意見書を提出すべきとしました。



介護施設内の様子

国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

*一括審査としました。

「逆の意味の公私間格差がすでに生まれており、今後の公立高校のあり方が心配だ」「潜在的には経済的理由が原因で選択肢を狭めている生徒がいるかもしれない」「生徒が自由に学校を選んで、夢を叶える選択ができる環境を整えるべき」との意見が出され、全会一致により採択し、国と県に意見書を提出すべきとしました。

所管事務調査

- 学校再整備について
- ウォーターPPPについて
- 3団地下水道接続説明会について

議会運営

委員長 伊東圭介

令和8年度当初予算議会費

令和8年度の議会費については、前年度対比256万円減の1億8381万円で予算要求することに決定しました。

議会改革

各会派・議員から提案された7項目31点について継続して協議しました。

議員活動実態調査

通年議会開始の令和7年5月から10月までの中間集計の報告をしました。

全 会 一 致 の 議 案 等		結果	関連記事
議会議案 第7-23号	葉山町議会の定例会に関する条例	可決	P 4
陳情 第7-32号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書	採択	P 6
陳情 第7-33号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	採択	P 6
陳情 第7-34号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	採択	P 6
陳情 第7-35号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	採択	P 7
陳情 第7-37号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P 6
陳情 第7-38号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P 6
陳情 第7-39号	株式会社三嘉を事業者とする有限会社新世工業による下山口茅木山の大規模な造成工事に関して、きちんとした住民説明会開催を要請する陳情書	採択	P 7
陳情 第7-41号	歩道上への駐車防止および安全対策としてのポール・標識等の設置に関する陳情	趣旨了承	P 7

お詫びと訂正 議会だより162号 12ページを次のように訂正いたします。

【正】	議案・決議・陳情等/議員氏名	～	～	～	～	～	～	～	～	～	待 寺	～	～	～	～		
	陳情 第7-28号	○ 討 論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	採 択 P9
【誤】	議案・決議・陳情等/議員氏名	～	～	～	～	～	～	～	～	～	待 寺	～	～	～	～		
	陳情 第7-28号	○ 討 論	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	採 択 P9

皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

意 見 書

※誌面の都合上、要約しています。

国へ 最低賃金の改善と中小企業支援の 拡充を求める意見書 政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金を抜本的に引き上げること。そのために、中小企業への支援策を最大限拡充すること。	国へ 介護保険制度の抜本改善、大幅な 処遇改善を求める意見書 利用料2割負担の対象拡大、ケアプランの有料化、要介護1、2の保険給付はгүйし等の見直しを行わないこと等4項目
国へ 安全・安心の医療・介護提供体制を 守るため、すべてのケア労働者の 処遇改善につなげる報酬10%以上の 引き上げを求める意見書 10%以上の引き上げ改定に加え、25年度中に全額公費による賃上げ支援策を実行すること。	国へ 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の 医療・介護の実現を求める意見書 新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院を拡充・強化し、保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充すること等4項目
国へ 国に私学助成の拡充を 求める意見書 教育予算の大幅な増額が不可欠である。よって、公私の学費格差をさらに改善し、私学助成の一層の増額を要望する。	県へ 神奈川県に私学助成の拡充を 求める意見書 神奈川県の経常費補助は、小学校と中学校は国基準額に達しておらず、その全国順位は最下位水準である。よって、私学助成の一層の拡充を要望する。

令和7年 葉山町議会 第2回定例会 12月定例会議 議員別賛否結果																												
議案・決議・陳情等		議員氏名(議席順)														結果	関連記事											
三浦	星	笹本	中村	石岡	山田	金崎	荒井	笠原	待寺	窪田	近藤	伊東	土佐	結果	関連記事													
議案第50号	令和7年度葉山町一般会計補正予算（第6号）														○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	P5		
議案第57号	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例														○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P4	
議会議案第7-16号	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例														○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P4	
陳情第7-42号	町有地の不当占拠解消に係る陳情書														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	採択	P7

○は賛成

×は反対

◎は提出者

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

全 会 一 致 の 議 案 等		結果	関連記事
議案第51号	令和7年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	－
議案第52号	令和7年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	－
議案第53号	令和7年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	－
議案第54号	令和7年度葉山町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	－
議案第55号	葉山町職員定数条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案第56号	葉山町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第58号	葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第59号	葉山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第60号	葉山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第61号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第62号	葉山町火災予防条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案第63～65号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	－
議会議案第7-17号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	可決	P9
議会議案第7-18号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める意見書	可決	P9
議会議案第7-19号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める意見書	可決	P9
議会議案第7-20号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書	可決	P9
議会議案第7-21号	国に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P9
議会議案第7-22号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P9

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を見ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



町政を問う



一般質問

皆さんはどのテーマに関心がありますか？

一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。

会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。



三浦大輝	荒井直彦	中村和雄	近藤昇一	山田由美	金崎ひさ	笹本貢史	窪田美樹	石岡実成	星 加代子
財政	防災協定	健康遊具	堀内会館	遺贈寄附	小中一貫校	無電柱化	外出支援	学校再編計画	ペットとの共生
P.16	P.16	P.14	P.14	P.14	P.12	P.12	P.12	P.10	P.10

星 加代子

防災・環境・福祉の連携で
ペットと共生のまちづくりを



町長

動物愛護やマナー向上、
災害時の対応など、連携を図る

問 環境フェスのペット用品のリユースが好評だった。今後の継続は。

町長 リユースは継続し、循環型の取り組みとして定着を図っていく。

問 ペットをテーマにした葉山らしいイベントを提案する。環境・防災・福祉など各部署が連携し、ペットと共に安心して暮らせるまちづくりを進めてはどうか。

町長 動物愛護、マナー向上、ペットの災害時の対応等、関係部署や民間団体とも連携しながら啓発の場を設けていく。

ワクチン手帳

問 さまざまなワクチンがあり、接種スケジュールが複雑だ。ワクチン手帳の導入を。福祉部長 健康手帳に挟めるような記録用紙の作成や自己管理支援を検討していく。

子どもたちのスマートフォン利用

問 スマートフォン利用が低年齢化している。トラブル防止のため、スマホ利用時間の管理と安全確保を行えるよう啓発の充実を。

教育長 各学校では授業の中で情報モラル教育を実施している。また、通信事業者の講座を活用している学校もある。今後も児童生徒が主体的に考える授業の実施に努める。

手話の普及活動

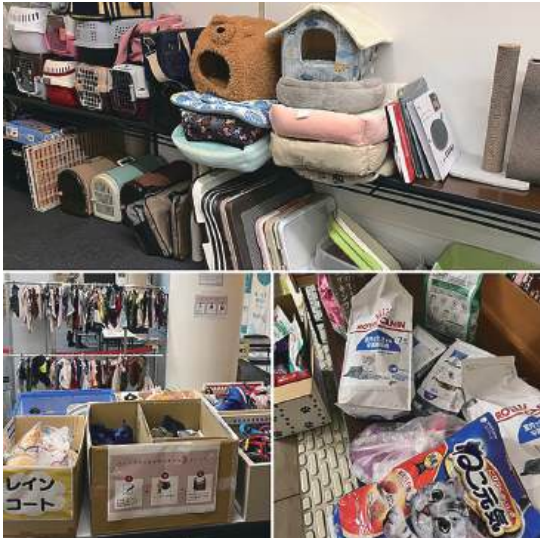
問 デフリンピックを契機とした手話普及の今後の方針は。

福祉部長 広報や体験機会を通じ、手話への理解と関心を高めていく。

交通不便地域の対策

問 はやまるタクシーの利用促進は。

政策財政部長 乗降ポイントの拡充や制度の周知を進め、一層の利用促進につなげる。その他の質問 若者・大人の居場所づくり



環境フェスに寄せられたペット用品・ペットフード

石岡実成

学校再編における
教育委員会の基本スタンスは



教育部長

基本路線は維持し
納得のいく事業にしたい

問 6月に提出された学校再編計画について、1年先送りになった訳だが、教育委員会としての基本的なスタンスは。

教育部長 基本的な路線は維持した上で、より多くの町民の方との合意プロセスを追求し、納得のいく事業にしたいと考えている。

問 計画を1年先送りにした町長の意図や想いを改めて伺いたい。

町長 一番大きな点は財源だ。赤字ありきの財政計画に簡単にゴーサインを出す訳にはいかない。これから財政課を中心に丁寧な議論を重ね知恵と工夫を凝らす時間になりたい。

問 教育長の意向や想いは。

教育長 資金面と施設のハード面、あるいは、これからの学校教育としてのソフト面と、精査すべき内容や課題が山積み状態で難しい局面なのは間違いない。その中で、町部局とも連携し、より多くの合意形成を図り、時限に固執せずにしっかりと進めていきたい。

自治会(町内会)へのサポート体制

問 自治会の存続が、これからのまちづくりには欠かせない。そのためにも、DX化に向けたサポート体制やイベント等の事業費支援など、より関わりを強化してほしいが。

政策財政部長 他自治体の事例紹介はありがたい。電子回覧板については、ちょうど試験的な試みを進行中だ。示された案を含め、改めて調査・研究していきたい。

機構改革の進捗

問 機構改革の進捗度は。

政策財政部長 町長からの指示を受け、既に部長級職員で一定の協議を重ねている。また、課長級以下、一般職員からの意見も集約し新たな組織編成に向けて準備中だ。



自作のプレゼン資料

窪田美樹

上山口木古庭地域におで
タク利用券を増やす対応を



福祉部長

必要な施策を考え結論を
出したい

問 上山口木古庭地域は高齢化率が40%を超えた。はやまるタクシーも対象地域外。外出支援におでタク利用券を増やす等の対応を。
福祉部長 必要な施策を考え結論を出したい。
問 地域包括支援センターに終活に関する相談が多いと聞く。横須賀市では「終活登録事業（生前は安否確認、死後は本人希望通りの葬儀を行い市が確認する）」がある。検討は。
福祉部長 終活セミナーの実施等、終活の必要性を知ってもらい、必要な相談を受けたい。
就学援助拡充
問 援助項目に卒業アルバムや眼鏡購入、ネット通信費等含む自治体がある。内容拡充は。
教育部長 制度にはない形で対象者を広げているメニューもあり、総合的に考えていく。
問 文科省から保護者負担軽減として算数セ

笹本貢史

無電柱化の進捗は



都市経済部長

推進計画改定を目指し、
各自治体と協議会を実施中だ

問 無電柱化事業の進捗は。
都市経済部長 県無電柱化推進計画の令和8年度改定を目指し、各自治体と推進協議会を実施中だ。国道の町役場入口から葉山小学校までの箇所採択に、消防署から町役場へ至る町道を加えることで、トータルでの防災力向上の目標に着実に進んでいる。
問 調査費の当初予算計上は。補正もあるか。
都市経済部長 当初予算は厳しいが、補正について検討していきたい。
問 社会資本整備交付金を得るための申請は。
都市経済部長 工法、設計に基づいた協議、事業費がまとまり交付要領に合致次第行方。
孤独死予防対策の拡張
問 「ふれあい収集」を、孤独死予防対策の福祉インフラとして拡張する考えは。

金崎ひさ

上山口小を施設一体型の
小中一貫校に



教育部長

教育委員会の発想には
なかった

問 施設一体型の小中一貫校計画を1年延ばしたが、その間、何を検討するのか。
町長 196億円の建設費に見合う活用方法を町民が納得できるよう考える期間とする。
問 南郷中学校区を先行するのでは。
教育部長 そのように説明したことはない。
問 上山口小学校は残すとのことだが、上小を卒業した後、小中一貫校の途中から入るのは非常に不安だ。まずは上小を施設一体型の小中一貫校にし、ヤシの実も含めてインクルーシブ教育を実践してはいいかがか。
教育部長 そのような発想はなかった。
問 防災機能を組み込むことによる補助は。
教育部長 確認したが、難しい。
問 学校建設等の寄附メニューを作っては。
町長 ぜひ、取り入れたい。

7 県内で不妊治療に対する助成を行っている市町村

市町村によって、対象となる治療費、上限額、要件等が異なります。
詳しくは、各市町にご確認ください。

横溝町（別ウィンドウで開きます）	平塚市（別ウィンドウで開きます）
鎌倉市（別ウィンドウで開きます）	藤沢市（別ウィンドウで開きます）
小田原市（別ウィンドウで開きます）	沼津市（別ウィンドウで開きます）
三浦市（別ウィンドウで開きます）	豊原市（別ウィンドウで開きます）
厚木市（別ウィンドウで開きます）	大和市（別ウィンドウで開きます）
伊勢原市（別ウィンドウで開きます）	海老名市（別ウィンドウで開きます）
南足柄市（別ウィンドウで開きます）	大磯町（別ウィンドウで開きます）
中井町（別ウィンドウで開きます）	大井町（別ウィンドウで開きます）
松田町	山北町（別ウィンドウで開きます）
開成町（別ウィンドウで開きます）	権柄町（別ウィンドウで開きます）
栗川町（別ウィンドウで開きます）	

町も不妊治療助成を
（県ホームページより）

ットや彫刻刀等を学校備品にとあり、検討は。
教育部長 備品管理等難しい。研究を続ける。
問 災害時、昼間葉山にいる中学生がとても頼りとなる。小中学校で防災教育に取り組み、先日、校内の危険箇所探しや、救命救急等を学んでいた。危険箇所は改善されているか。
教育部長 報告を受け次第対応したい。

不妊治療・不育治療助成

問 不妊治療が保険適用となり県補助は終了したが、県は不妊治療助成自治体に補助を実施している。自治体が助成事業を実施していないと補助されないが、町の検討状況は。
福祉部長 県補助は3カ年の2027年まで、以降は不透明だ。必要に応じ検討を進める。
問 20自治体は県補助以前から、近年3自治体が助成を始めた。治療は費用面だけでなく精神的負担も大きい。不育治療も含め検討を。
町長 制度の研究中だが、前向きに検討する。



無電柱化された国道361号線

福祉部長 「ふれあい収集」を核とするのは難しいが、様々なアイテムを活用し見守りを行っている。
町長 クリーンセンターのメンバーは、安否確認の最前線にいることを強く自覚してくれている。残念ながら亡くなっているケースでも早期に見えができたなら、という思いはある。さらにアンテナを張り、対策に努めたい。

小中一貫校の教育効果の担保

問 196億円の建設費に見合う9年間を通じた人間的な発達成長、教育効果と教育戦略は。
教育部長 多額の費用がかかり、施設を使い倒せるよう最大限の努力をする。教員交流が盛んになり、系統的カリキュラムを組むことに意欲的になったという効果がみられる。フリースクール等支援教育体制と公立学校のつながりや、地域で学びを支える観点で、様々な人と対話することが非常に大事だ。

歳入

問 法定外目的税の別荘税を導入しては。
総務部長 具体的検討は足踏み状態だ。
問 ふるさと納税は通信販売化している。国に見直しの要望はしているのか。
町長 県内の町村長同士では話し合っている。

防災

問 まちづくり条例での道路拡幅指導は甘い。狹隘道路を解消する気持ちはあるのか。
都市経済部長 狹隘道路拡幅整備事業とコラボして何とかならないかと議論をしている。
問 富士山等噴火の備えについては。
総務部長 地域防災計画に新たに章立てをして、火山噴火の対応を具体的に記載する。
問 原子力事故での町民の取るべき対応は。
総務部長 自宅で閉め切った形での避難だ。
問 初期消火には街頭消火器が大切だが。
消防長 376基あるが、少なくする予定だ。



減少させるのか、街頭消火器

山田由美

遺贈寄附の周知は



政策財政部長

町のホームページで始めた

問 終活と同様に、遺贈寄附への関心が高まっている。町民への周知は。

政策財政部長 町のホームページで始めた。

問 道路拡幅や防火帯の設置など、大災害に備えて準備するべきだが、土地の寄附という観点から、遺贈寄附を活用する考えは。

政策財政部長 検討していくことは可能だ。

まちづくり条例

問 ブロック塀の新設は禁止するよう、まちづくり条例を改正してはどうか。

都市経済部長 危険ブロックは198カ所あり、改修率は30%弱だ。新設イコール危険ではないので、禁止は考えていない。

問 特定開発の面積を千㎡から800㎡にしてはどうか。700㎡でも600㎡でもよい。規制を厳しくする方向に変えるべきではないか。

近藤昇一

堀内会館建替え最優先の
根拠が不十分では



町長

地域で頻繁に使われている

問 堀内会館の建替え方針は、公共施設等将来構想で耐震診断すら実施されず、劣化状況や修繕履歴も十分に示されないまま決定された。改修と建替えの比較検討もなく、なぜ建替えなのか。町民に納得できる説明がない。

町長 50年経過している建物で、エアコンがない、網戸も壊れている状態で地域の憩いの場として頻繁に使われている。

問 一色会館の老朽化は外観からも確認できる。代替え施設として、旧役場跡地への施設建設が優先されるべきではないか。

町長 次のステップの公共施設で確実にあの地域について議論を深める場所と考える。

問 公共施設等将来構想で、長柄地域に集会施設や公園が少ないと課題提起されている。しかし、解決に向けた方針は示されていないが。

中村和雄

公園に高齢者用の
健康遊具を設置しないか



都市経済部長

希望があれば増やすことを
考えたい

問 高齢者用健康遊具の公園設置を。

都市経済部長 町内60公園中13公園に設置している。希望があれば増やすことを考えたい。インクルーシブ遊具を設置している南郷上ノ山公園での設置については検討する。

これからの公共施設整備

問 堀内会館の建替えにあたり、津波の避難所としての機能を持たせるべきと思うが。

政策財政部長 建替えについては町民の意見を聴取して報告書を作成してきた。慎重に考える必要がある。

問 建設費の高騰と子どもの急激な減少を考えると、財政縮小が見込まれる中、小中一貫校は葉中学区に1校しか造れないと考える。当分の間、長柄小と上山口小を1年生から4年生までの教育の場として残すのはどうか。

都市経済部長 課題だとは認識している。

問 下山口の茅木山の開発で、山に向かって左側と右側の平地が同じ所有者になったのなら、一体の開発とみなすべきではないのか。

都市経済部長 それも課題と認識している。

問 風致地区で無届けの樹木伐採があっても、罰金まで行き着いた例はないのなら、茅木山の開発の場合、報告書で「5メートル以下の樹木ばかりだった」と事業者に書かれたら、それをそのまま認めるのか。

都市経済部長 そうではなく、証拠がなければ、5メートル以上あったとみなす。

町職員の育休

問 男性職員の育休取得率は。職員採用に際して、取得率の高さはアピールできる。

総務部長 令和7年度現在、80%だ。

問 非常勤職員の育休取得状況は。

総務部長 現段階では取得者はいない。



下山口茅木山の開発地



堀内会館



箱根 仙石原公園の健康遊具

町長 議論を重ねたが答えが出なかった。

まちづくり・開発問題

問 まちづくり協定の住民同意の条件が逗子市では66%、葉山町は80%とハードルが高くなっている。どのように考えるのか。

都市経済部長 種々課題はあると認識し、条例の趣旨に基づく仕組みを構築したい。

問 分割による条例逃れや、一連性判断の不透明さ、基準非公開の姿勢は、紛争を防ぐどころか助長している。審議会も十分に機能せず、町長の関与も弱いと言わざるを得ないが。

都市経済部長 課題として認識しているの

のでしっかりと検討していきたい。

問 逗子市の条例は関係住民、事業者、市長が必要と認める場合は、議会に対して賛否の意見を求めることができる。町長の考えは。

町長 条例化をしなくとも、陳情等での議会の意思を尊重する。

葉桜児童館脇の通路

問 葉桜児童館脇の通路のデコボコの整備を。

環境部長 考え方を整理し、通る人の安全が確保できるよう対応したい。

問 南郷上ノ山公園の管理棟を建替える際、民間の力を活用してカフェカレストランを併設した施設にしてはどうか。

都市経済部長 民間活力を視野に検討している。

教育部長 令和7年6月に公表した構想計画をベースに社会の動きを注視していきたい。

問 分校として残し、さらに児童数が減った段階で統合すれば、施設計画にゆとりが出て地域と融合した学校づくりができるのでは。

町長 なるべく大きな集団で教育を受けたいという方もいる。行政がリーダーシップをとることではないと感じている。

問 南郷上ノ山公園の管理棟を建替える際、民間の力を活用してカフェカレストランを併設した施設にしてはどうか。

都市経済部長 民間活力を視野に検討している。

荒井直彦

他市町村との
防災協定締結の推進は

町長

想定される災害の規模等を
勘案した上で検討をしていく



問 「地震を知って災害に備える」歴史から読み解く神奈川の未来」という題目の研修会に参加した。その中で「2038年までに必ず、南海トラフに関わる地震が起こる」とあり、今後の他市町村との連携が重要だ。防災協定締結推進への意向は。

町長 現状で具体的な防災協定について、予定はない。協定について、地域の課題の解決など、効果が町民に還元される取り組みが実現できるか、地勢的な条件や想定される災害の規模等を勘案した上で検討していく。

問 先方から打診があった場合は、どのような調整ができるか。

総務部長 協定については、支援の内容もさることながら、多くの自治体の防災担当と、災害に対する向き合い方や情報交換をする場

三浦大輝

別荘税の導入は

町長

考えなければいけない
方向にある



問 町の将来人口推計をもとにした政策効果を織り込んだ「目標人口」の設定も必要では。

町長 冷静なトレンド推計を基本にしており、政策的な人口誘導の価値には疑問を感じる。葉山の地政学的な優位性こそ大きな価値だ。

問 町税収入に依存する本町の財政構造で、人口減少は税収減少に直結するが、認識は。

町長 短期的には今すぐ心配する状況はない。仮に将来地価が下がっても、葉山を好んで住む方が暮らせる場所になるとの見方もできる。

問 税収確保の観点から、別荘税の導入は。

町長 現状考えなければいけない方向にある。

学校整備の位置づけ

問 人口減少が基本線の考えの中で、200億円規模の学校再整備を行うことへの認識は。

教育部長 施設老朽化から先送りできない問

町村議会議員研修会

令和7年11月21日
箱根町の仙石原文化センター

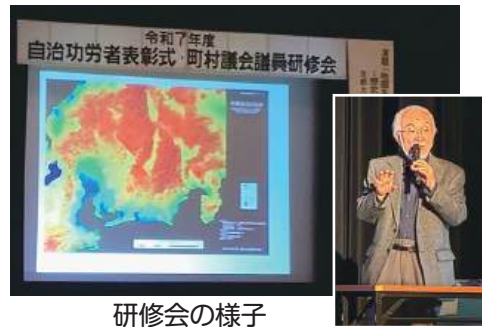
「地震を知って震災に備える」
歴史から読み解く神奈川の未来」

京都大学名誉教授・元京都大学総長

尾池 和夫氏

神奈川の大地・地震を知って震災に備える・断層とプレートとの重なり・南海トラフの巨大地震・2038年の予測・安全と安心の関係などを伺いました。

災害はいつどこで起こるか分かりません。だからこそ、正しく恐れることが大切です。過度に不安になる必要はありませんが、適切な知識を身につけ、日頃から備えておくことで、いざという時に自分や大切な人を守る行動が取れるようになります。正しい理解と備えを通して、災害に強い暮らしを築いていきましょう。



研修会の様子

町長行政報告

令和5年9月、元町民から提訴された10万円の慰謝料を求める損害賠償請求事件は、6年12月に鎌倉簡易裁判所で「棄却」の判決が出されましたが、7年1月3日付けで、横浜地方裁判所に控訴状が提出されました。

8月20日に判決の言い渡しがあり、第一審に引き続き、第二審でも棄却の判決が下りました。7年10月の上告期限までに原告からの上告がなく、本件訴訟は終結となりました。

気になる陳情のゆくえ

●令和8年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情

●令和8年度における「透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

〈町の対応状況〉

令和7年10月よりガソリン給油券については月10ℓから月1500円に変更し、タクシー券も月1200円から月1500円に変更しました。令和8年度についても、7年度と同様に予算要求を行います。

(議会だより162号 p10 参照)



として大変有益である。他自治体とのつながりを構築して関係性を持つていくのも必要であり、ありがたい話だ。

農業支援

問 2015年3月に「レモンの木」を町として推進させてはどうか」との一般質問で「検討する」との答弁だった。検討状況は。

都市経済部長 2024年度農産物品評会の出品総数の164品中12品のレモン出品があった。レモンを育てる農家が一定数いるのは認識している。

問 葉山の気候に適した品種は「リスボン」と聞いている。質問から10年が過ぎ、新品種のレモンも開発されている。期間限定で農家を支援するシステムを構築してはどうか。

都市経済部長 果樹等、農作物全般なので、農協と協議する。

その他の質問 ふるさと納税



寒さに強い品種「リスボン」

年末年始のごみの持込について	
年末年始、クリーンセンターへ一部品目のお持込みができます！	
今年度は年末年始の休業が長期にわたるため、次のとおりクリーンセンターでの受入れを行います。	
お持込みが可能な品目	
燃やすごみ	
容器包装プラスチック	
お持込みが可能な日時	
12月25日（木曜日）	9時から11時30分 13時から15時30分
12月26日（金曜日）	
1月5日（月曜日）	
1月6日（火曜日）	

年末年始のごみ持ち込みについて
(葉山町ホームページより)

議会広報・議会運営合同

10月16日 茨城県阿見町議会 あみ議会報告会 & 交流会

フリートークありで、意見交換を重視していました。議会ツアーの形で、議場を会場にした時は好評だったそうです。議員カフェや放課後カフェの話もありました。町民からの意見は、各委員会で検討・精査し、行政に提言していました。

議会モニター制度

当初は、応募者を集めるのに苦労したそうです。目的を明確にすることが必要と学びました。



阿見町役場

視察報告の詳細、各委員の所感は、議会ホームページをご覧ください。

議会広報常任委員会委員長 山田由美
議会運営委員会委員長 伊東圭介



10月17日 茨城県美浦村議会 情報発信改革

タブレットを活用し作成したYouTubeの発信、デザインに工夫をこらした紙面作りを行っていました。議会報告会での行政に対する質問は、執行部から回答状を出してもらっていました。

●今回の視察では「町民を惹きつける工夫」が重要であると学びました。町民との協働という理想の実現に向けて創意工夫していきます。



美浦村役場

総務建設常任委員会

委員長 荒井直彦

10月27日 長野県伊那市高遠町 国道361号線の無電柱化

1985年9月に無電柱化推進委員会が勉強会を始めましたが、結論が出ないまま凍結。2014年9月に、国土交通省・長野県との合同で議論が再開され、全区間約600m、埋設電柱は35本から36本をもって2023年事業は終了しました。

議論が再開された理由は、技術の進歩でコンデンサーが小型化され、設置場所の確保が安易になったためとのことでした。

●葉山町でも防災や景観の観点からも推進すべきと思います。



無電柱化された国道361号線



教育民生常任委員会

委員長 待寺真司

10月20日 長野県塩尻市 塩尻市立^{なからわ}榑川小中学校(小中一貫義務教育学校)

特色ある教育 特産漆器産業の学習を通しキャリア教育を実施。「木曽漆器祭」では、児童・生徒が販売を行うなど、地域の文化の継承や、地域再生につなげていました。

学区外からの受け入れの現状と効果 小規模特認校制度を採用し、区域外就学の効果として「学校内の多様性や視野が広がる」との評価が、教職員や地域住民からも上がっていました。

学校見学 校舎は地元産木曽ヒノキを使用し、特にランチルームは誰もが快適に過ごせる空間が広がっていました。

●葉山町でも、新設予定校において素晴らしい教育環境の整備、教育内容の充実を更に進めていかなければと感じました。



榑川小中学校校舎



ランチルーム

10月21日 長野県諏訪市役所 不登校対策

公民館に市直営の「諏訪市フレンドリー教室（教育支援センター）」を設置し、教員免許を持つ職員が常駐し学習支援を行い、サポート職員も配置。月に1度、在籍校に学習内容や様子など報告し情報の共有を図っていました。

諏訪地区学びの支援サポート(ネットワーク)

諏訪圏域の3市2町1村で、不登校の児童・生徒や保護者、不登校支援関係者がワンストップで情報にアクセスできる「学びの支援サポートブック よりそう」を協同作成し、学校関係者や民間支援団体などが連携強化に取り組んでいました。

●葉山町でも、高校生の居場所づくりにも有効となる教室の開設や、官民一体となり作成したサポートブックを求めているかなくてはと思いました。



2月定例会議は 2/9～3/19の予定です。

議案審議

2/9(月) 3/13(金)

総括質問

2/16(月) 2/17(火)

一般質問

3/16(月) 3/17(火) 3/18(水)

予算特別委員会

2/18(水) 2/19(木) 2/20(金)

2/24(火) 2/26(木) 3/2(月)

各常任委員会

3/3(火) 3/4(水) 3/5(木)

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

3/6(金)

議会運営委員会

3/9(月)

スケジュールは変更になる可能性があります。

また、総括質問、一般質問は質問者数によって日程が変動します。

詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



議会のライブ・録画中継は
スマートフォン、タブレット
でも視聴できます。



議会ホームページのトップの
Googleカレンダーから、
最新の議会日程が確認でき
ます。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。



「町民との会議」の申し込み方
議会では「議会報告会」のほか、町民の方、団体の方々と
の懇談の場を設けています。
詳細は議会事務局へお問い合わせください。
TEL. 046-1876-1111



過去の
意見交換会



町民との会議のお知らせ

申し込み不要。フリートークでご意見をお聞かせください。

令和8年2月7日(土) 10:00~11:30

上山口会館 山田
堀内会館 笠原
長柄会館 金崎

令和8年2月14日(土)

一色小新館301号室 山田・
木古庭会館 笠原・中村・石岡・星 各議員
下山口会館 金崎・笹本・近藤・伊東 各議員

開催中止

国政選挙の影響で直前の中止となり大変申し訳ございません。
次の開催は決まり次第お知らせします。



「はやま議会だより」の 表紙写真・絵画(イラスト)募集!!

- 第2回の締め切りは3月19日
(164号発行は令和8年5月)
- 町内在住・在勤・在学の方
- 一人3点まで
- 第三者の著作権や肖像権を侵害
しないもの



発行日の季節に合う写真や絵画を、広報委員会で
選考します。
詳細は議会ホームページをご覧ください。



自治功労者表彰

伊東圭介議員が、6年以上
町村議会議長の職にあるも
のとして、令和7年11月21日
に自治功労者表彰を受けま
した。

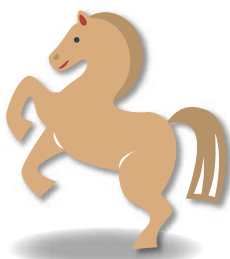


編集後記

新たな年を迎えました。
編集メンバーとなり3号目
です。議会での議員の発言、
執行部の答弁について、町民
の皆さまへわかりやすくお伝
えするための編集作業に努め
ております。その作業で改め
て別の視点から一言一句を振
り返ることとなり「言いっぱ
なし、聴きっぱなし」となら
ず、よく咀嚼するようになり
ました。今後とも精進いたし
ます。

1月吉日

笹本貢史 記



議長 土佐 洋子

議会広報常任委員会

山田 由美 金崎 ひさ
笠原 俊一 荒井 直彦
笹本 貢史 窪田 美樹
中村 和雄